

災害関連死、ゼロの 社会を目指す

<9>

皆が幸せを祈り新年を迎えました。ただその裏で過去の災害に苦しみながら生活を強いられる人々がいることを忘れてはいけません。一つの災害

が起きるとその災害が一気に注目を上げ、マスクなどで取り上げられ、ボランティアに向かう人、募金により手助けをする人、その他大勢の方が被災地に心を向ける一方、次の災害が起ると、また時が経つにつれ、つい忘れがちになる被災地の現状。もちろん故意的に忘れられるわけではありま



●過去から学ぶ
我々は未来に向けて生きていますが、その未来をうまく生き抜くために過去の教訓を生かさねばなりません。起きてしまう災害はある面仕方がないことかもしれませんが、その事前対応、事後対応は過去から学ぶことができます。そのために普段の生活の中で想像力を働かせ、今のうちにで

●できることから準備
ではどのようなことができるか、どう準備すべきかを述べていきます。

まず災害が起きる市町村から避難情報が発令された場合には、テレビやラジオ、インターネットなど

のほか、防災行政無線や広報車などで伝達されます。警戒レベル3や4が発令された場合、その地域にいる方は、周囲に声を掛け合って、安全・確実に避難が必要です。警戒レベルは、必ずしも1から5の順番で発表されるとは限らず、状況が急変することもあります。市町村から避難情報が発令されていない場合でも、防災気象情報を参考にしながら、適切な避難行動をとる必要があります。普段から自分が住む地域にはどのような災害リスクがあるか、災害が発生したときの避難場所はどこ

- 災害関連死ゼロフォーラム
<http://zero-forum.jp/>
- (一社) 地域防災支援協会
<http://www.boushikyo.jp>
- (一社) 日本環境保健機構
<http://jeho.or.jp>

か、安全な避難経路はどこかなどを身のまわりの災害リスクを調べる「ハザードマップ」で確認しておく必要があります。ハザードマップポータルサイトでは、災害時の避難や、事前の防災対策に役立つ情報を公開しているため確認をされる方が良いでしょう。